



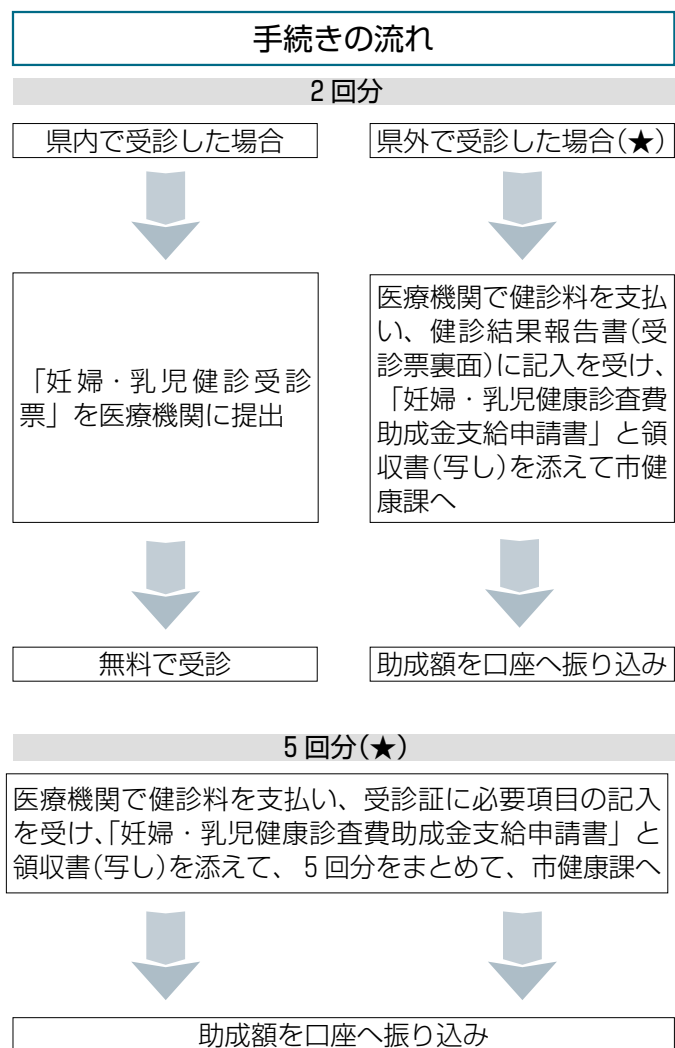
赤ちゃんができたら…

安城市妊婦健診等助成制度

問い合わせ▼
健康課(市保健センター)
内／☎(76)1133

妊娠した人が受ける妊婦健診に助成があることをご存知ですか？2回分は無料で受けられ、5回分に対しては、1回あたり上限5980円の助成があります。

●対象 一般診察・尿検査・血圧測定・血色素検査・超音波検査など、定期健診で通常実施される検査項目



※★は4月1日以降の受診から対象。
※郵送による申請可。
※「妊婦・乳児健康診査費助成金支給申請書」「妊婦健診受診票(証)」は母子健康手帳の交付時にお渡します。また、申請書は市ホームページでもダウンロードできます。

安城市次世代育成支援行動計画の平成18年度実施状況をお知らせします

問い合わせ▼児童課
子育て支援係(西会館内)

1	地域における子育ての支援	66事業
2	母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保および増進	29事業
3	子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	56事業
4	子育てを支援する生活環境の整備	14事業
5	職業生活と家庭生活との両立の推進	37事業
6	子どもの安全の確保	9事業
7	要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進	29事業
8	次代の親の育成	15事業

次世代育成に関する市の取り組み方を様々な分野から総合的に定めた計画です。

基本理念を「子どもを育てる喜びを家庭・地域・社会とともになくむまち」とし、平成17年3月に前期計画期間／17(21年度)を策定しました。

計画は、左表のとおり、8つの基本方針と、25事業の具体的施策で構成しています。

次世代育成支援行動計画とは

事業名	項目	基準値→実績	目標
ファミリー・サポート・センター事業の推進	会員数	342→611	500
放課後児童健全育成事業(児童クラブ)の推進	①実施か所 ②定員	①19→25 ②685→950	①25 ②865
地域子育て支援センター事業の推進	実施か所	3→4	5
町内ふれあい交流活動の支援	実施か所	①58→83 ②1→3	①継続 ②3
①世代間交流事業 ②子ども見守り事業			
パパママ教室の推進	①開催回数 ②参加者	①21→30 ②649→1125	①30 ②900
個に応じた多様な指導方法の充実	①小学校 ②中学校	①20→21 ②8→8	①21 ②継続
教育相談体制の充実	①スクールカウンセラー ②心の教室相談員	①5→8 ②3→0	①8 ②8
子育て・家庭教育に関する学習機会の充実	実施→実施		継続
建築物のバリアフリー化の促進	4か所が認定取得→施行中		継続
多目的トイレ・おむつ交換台・授乳室の設置	実施→施行中		継続
男女共同参画社会推進事業の推進	開催回数	3→5	4
「こども110番の家」の推進	実施か所	761→1012	900
安城市児童虐待防止協議会の推進	開催回数	2→2	3
高齢者との世代間交流の充実	実施→34か所で実施		継続
つどいの広場事業の推進	実施か所	未実施→1	2
子育て支援総合コーディネート事業	コーディネーター	未実施→1	1
思春期健康教育の推進	講師派遣回数	未実施→5	10

※基準値＝平成15年度実績、または平成16年4月1日現在 実績＝平成18年度 目標＝平成21年度

重点推進項目
具体的施策の中から20事業を重点推進項目としています。
平成18年度に実施したものは左表のとおりです。

重点推進項目

「年長児童の赤ちゃん出合い・ふれあい・交流事業」を実施。小学校高学年以上を対象に赤ちゃん講座を開催しました。(開催回数・1回/平成21年度目標・7回)

平成18年度新規事業

安城市次世代育成支援対策地域協議会から

同協議会は、13人の委員で構成し、計画の目標達成状況、事後評価、修正に関して協議しています。3月22日に開催した協議会の主な内容は以下のとおりです。

■不登校

意見 不登校への対策は？
回答 学校の相談室と教育センターふれあい教室などが連携し、対応している。
意見 指導員の定期的な訪問について考えは？
回答 大学生ボランティアなどを活用し、充実を考えている。

■職業相談・パートサテライト

意見 利用実績が下がっている
回答 場所を移転し、相談しやすい環境を整える。

■マタニティ広場・赤ちゃんサロン

意見 利用回数の制限は？
回答 制限はないが、赤ちゃんサロンは対象月齢があるため最高6回まで。

■離婚した人に対するサービスの情報提供

意見 どのような案内方法か？
回答 戸籍の手続きをする際に手当や医療など関係課の案内を渡している。

※詳しくは市ホームページにも掲載しています。